

令和 5 年 6 月 17 日小麦脱穀体験イベントの報告をします。

6/17（土）に行いました いただきますの森 小麦脱穀イベントについて報告をします。

6/4（日）に刈り取った小麦は吊るし干しをして寒冷紗とブルーシートをかけて約 2 週間干しました。

当日は梅雨の時期とは思えないくらいの暑い陽射しの中、脱穀イベントを開催しました。

参加された方の人数はいた森びと約大人 9 人、子ども 6 人、一般参加者約大人 6 人、子ども 4 人程度で作業を行いました。



作業の前にいただきますの森について自然農を主体とした作物作り、昔ながらの文化的営み、生き物との共生等を大切に、それを少しでも体験できる場としていただきますの森は皆さんに開かれていることを説明しました。

その後郷土文化館より学芸員さんが来て下さり、持参された資料を見ながら国立の地域の土地についてこの辺りは多摩川が近く、昔は田んぼや桑畑、畑等が広がっていたことやお借りした足踏み脱穀機や唐箕についての使い方の説明をして頂きました。

小麦の外皮を外す特大のたたき棒も持参していただき、どのようにして使われていたのか説明をして頂きました。

いただきますの森にある唐箕はなんと明治時代の代物でした。大切に使用していきましょう。



虫ホテル

ホーリーバジルの花



なかなか見慣れない道具と体験に一般参加者の方も興味を持ちながら積極的に作業をして頂きました。

作業内容は足踏み脱穀機で小麦の穂を外し、その後穂を木槌でたたき外皮を外します。

たたいた穂を唐箕へ入れ、外皮と小麦をより分けます。最後に再度残っている外皮をふるいにかけて選別します。

陽射しの強い中での作業でしたが、皆さん集中して順番に作業を行って下さいました。ありがとうございます。

同時進行で、看板下の虫ホテルの作成もいた森参加の子どもたちと行いました。

材料集めとして里山に落ちている木を拾って来たり、使用しない木や竹をのこぎりで切って枠にはめる作業を行いました。

一般参加者の方の中でも脱穀作業よりこちらの作業を子どもがやりたいと一緒に作業をして頂きました。

途中休憩時には、自家製梅干しの差し入れもあり、とても美味しく皆で味わい休息しました。

その後お時間がある方は、一緒に大豆の種まき作業やみつばちの観察へ行っていただきました。

今年は小麦刈り取り跡地の 3/4 を大豆、1/4 に小豆を育てる予定です。

南東の端にたかきび（コーリヤン）も蒔きました。南側花壇のホーリーバジルも紫色の花を咲かせていました。

今後の予定として、大豆の種まきを行いましたので、大豆の成長に合わせて、雑草取り兼土寄せ作業がありますので、

定例会とは違う日に作業が入る場合もあります。よろしくお願い致します。

8月末には虫観察のイベントを企画しています。

いただきますの森はみんなで創り上げていく場だと思っていますので、ぜひ一緒に活動していきましょう。

(文責：いただきますの森 プロジェクト 前川)